

思いやりあふれる白鷹町にするために

私たちができることは…



子ども会議を開催しました

2月22日、産業センターで、町内の小中学校、荒砥高校の代表が参加し、4班に分かれてワークショップ形式で話し合いをする「子ども会議」が開催されました。学校を越えての話し合いや交流を通して、これからの町を担う子どもたちの健全な心を育むため、青少年育成町民会議と教育委員会の共催で毎年開催されます。

会議のテーマは「もつと思いやりあふれる心地よい白鷹町にするために」。初めに、特殊なゴーグルやサポーターを装着して高齢や身体の障がいに伴う身体的機能の低下を疑似体験し、高齢のかた、障がいのあるかたが日常生活で困っていると思うことを話し合いました。同じように「同年代の人たち」「家族の人たち」「地域の人たち」が困っていることについても考え、解決していくために自分たちができることを話し合いました。

普段は気づかないで生活していたことに少しの思いやりがあると心地よく生活できます。今回の話し合いで提案したことをみんなで実践してくれることでしょう。

【会議に参加した代表者】

1班

大瀧 恵太 (蚕桑小)
赤間 英生 (蚕桑小)
豊嶋 郁吹 (荒砥小)
新野 健太 (東根小)



2班

樋口 愛 (荒砥小)
國谷 莉那 (鷹山小)
高橋 志歩 (鷹山小)
鈴木 華凜 (東根小)



3班

丸川 真由子 (西中)
齋藤 桐子 (西中)
安部 美聡 (東中)
齋藤 良美 (荒砥高)
佐藤 晴香 (荒砥高)
柳生 未帆子 (荒砥高)



4班

丸川 岬太 (西中)
安部 潤一郎 (東中)
竹田 了礼 (東中)
大木 佳純 (荒砥高)
樋口 悠香 (荒砥高)

